

**普ま  
読み**  
令和2年度ヨコハマ市民まち普請事業 二次コンテスト  
一年間磨いてきた提案から助成対象が決まります  
～コンテストに挑戦する4団体を紹介～

一次コンテストを通過し、地域の絆と専門家のアドバイスで練り上げられた **4** 件の提案が、施設整備の実現を目指し二次コンテストに挑戦します。

提案グループの想いがつまった発表の様子や審査員との真剣な質疑応答、緊張感あふれる結果発表など熱気に満ちたコンテストの様子を是非YouTubeによるLIVE配信でご覧ください。

二次コンテストに臨む4件の整備提案（発表順）

| 提案グループ名   | イメージ図   | 提案名・内容   |
|---|---|--|
| Co-coya復活プロジェクト実行委員会<br> |   | <u>「水」と「火」のある地域のほっとステーション</u><br><u>提案場所：緑区中山</u><br>住宅地の空き家を活用し、地域の人が気軽に出入りできる拠点を整備します。既存の井戸を復活させ、薪ストーブなどを設置し、いざという時に「水」と「火」を提供可能な多世代が安心して暮らせる地域にしたい。     |
| ぐるーぷ・ちえのわ事業検討委員会<br>    |  | <u>車椅子でもOK！だれでも集える多目的交流スペース</u><br><u>提案場所：戸塚区小雀町</u><br>空き家をバリアフリー化し、車椅子でも利用できる交流拠点を整備し、関係機関と連携しながら支援を必要とする子どもたち、親御さんたち、高齢者の方たちに寄り添い、支え合える温かな地域をめざしたい。    |
| 子安台みんなの家をつくる会<br>       |  | <u>子安台みんなの家</u><br><u>提案場所：神奈川区子安台</u><br>築54年の古い空き家を改修し、家族食堂やマルシェ、料理教室等を行う多世代交流拠点を整備します。空き家の整備段階から地域の方々に参加してもらう事で、整備後も日常的に使われる交流拠点を目指したい。                 |
| 里山再生よこはま森のアトリエ<br>      |  | <u>都市型里山ライフの普及による地域循環里山モデル構築</u><br><u>提案場所：旭区上白根町</u><br>荒れた里山を整備して、森林の専門家や地域の住民が気軽に集まることが出来るプラットフォームを整備します。里山を地域の資源として、多様な人材が集うことで、地域の価値が更に向上することを目指します。 |

## YouTubeによるLIVE配信

視聴方法についてはヨコハマ市民まち普請事業ホームページの「イベント情報ページ」よりご確認ください。

### 【放送予定時間】

令和3年3月7日(日) 9:30~16:30 (予定)

YouTubeチャンネル「ヨコハマ市民まち普請事業」にて放送。

※二次コンテストの進捗状況によって終了時間は前後する場合があります。

※LIVE配信となりますので、動画のアーカイブは残りません。



イベント情報ページ

まち普請

検索

## 二次コンテスト開催概要

- 開催日時 令和3年3月7日(日)  
9:30~16:30 (予定)  
※新型コロナウイルス感染症対策のため、無観客で実施します。  
一般の方はコンテスト会場に入場できません。

写真：昨年度の二次コンテストの様子

### 2 プログラム

- 9:30 開会  
まちづくり提案の発表  
公開質疑・選考
- 16:30 (予定) 閉会



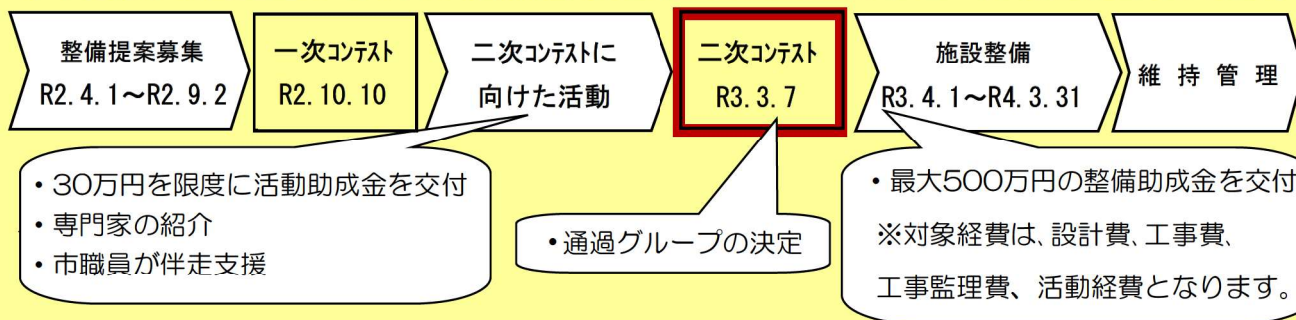
【発表の様子】



【質疑応答】

## 事業の流れ

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、事業スケジュールを延期しています。



## ヨコハマ市民まち普請事業とは

市民の皆様から地域の課題解決や魅力向上のための施設整備に関する提案を募集し、二段階の公開コンテストで選考された提案に対し、最大500万円の整備助成金を交付するなど、市民の皆様が主体となったまちづくりを支援する横浜市独自の事業です。

二次コンテストでは、創意工夫・実現性・公共性・費用対効果・地域まちづくりへの発展性の5つの基準から審査し、助成対象を決定します。

※取材をご希望の方は、3月5日(金)12時までに下記連絡先へお問い合わせください。

お問合せ先

都市整備局地域まちづくり課担当課長 萩原 慶一 Tel 045-671-2665